



第2回ごみゼロカフェ

～夏休み 親子で資源化処理施設を見学～ ごみの未来を考えよう

今回は、夏休み中に開催し、小学4年生～6年生のお子さんと保護者の方に参加していただきました。王禅寺エコ暮らし環境館の資源化処理施設を見学し、間近に空きびんやペットボトルを手選別している様子を見ることができました。その後、日頃感じたり、疑問に思っていることも含めて、「ごみをどう減らしていけば良いか」皆さんで話し合いました。

話し合いはとても活発に行われ、たくさんの気づきと素晴らしいアイデアが発表されました。



参加者(大人)の感想

- ・資源ごみが処理されている様子を、説明を聞きながら見学することができ、リサイクル、分別に対する意識が変わりました。
- ・ごみ処理を身近な問題として考えることができました。



参加者(子ども)の感想



- ・これまでごみをただ捨てるだけだったけれど、今後は分別をしっかり行い、ごみが増えないよう、積極的にリサイクルに取組みたいです。
- ・第1回は机でやったけど、今回は丸い段ボールを使い、楽しみながら環境問題について考えられたので良かったです。3回目も参加したいです。

令和元年度 第2回ごみゼロカフェ 開催概要

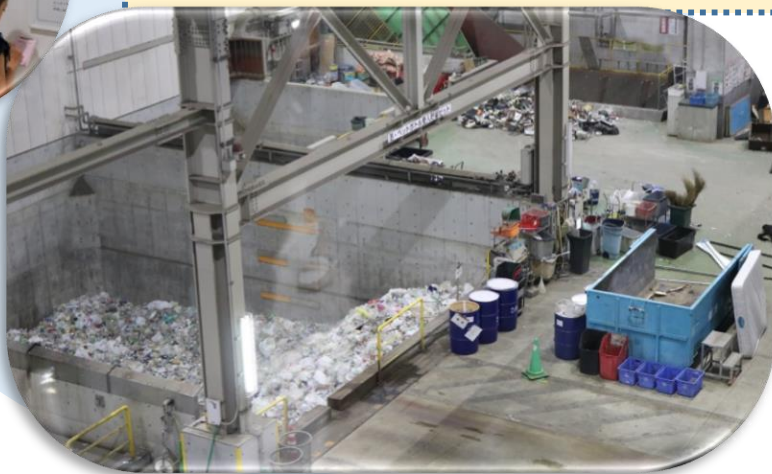
- ◆開催日 令和元年8月16日(金) 10:00～11:30
- ◆会場 王禅寺処理センター資源化処理施設・王禅寺エコ暮らし環境館
- ◆参加者 小学4年生～6年生の親子10組20名(子ども10名・大人10名)
- ◆プログラム
 - ①資源化処理施設の見学
 - ②分別・リサイクルを推進するために必要な取組について話し合い
 - ③アイデアをごみゼロカフェ川柳にまとめる

資源化処理施設を見学をしました



見学スペースから

施設内は広く、とてもきれいで驚きました。
ペットボトルの捨てられている量が多かった。
たくさんの方がごみ分別をしていて、自分がごみを出す
ときにもう少し分別の仕方を気をつけようと思いました。



収集車から下ろされたペットボトル



空き缶は機械選別ですが、ペットボトルと空きびんは手選別作業をしています



空きびんの手選別作業の様子



間違ってお出されたものを展示

ごみ処理施設を見学するのは初めてでしたが、とてもきれいで、ごみが丁寧に分別・処理されている様子を見ることができました。

手選別でたくさんの方が時間をかけて分別していて大変だなと思いました。
まだまだ分別できると感じました！

エコ暮らし環境館の
ガイドさんの説明を
真剣に聞いているね。
リサイクルの流れが
よくわかったね。



円形ボード「えんたくん」を囲んで・・・

みんなが円座になって「えんたくん」を
膝にのせると、あっという間にステキ
な丸テーブルに早変わり！



ごみについて市民の皆さんと意見を交換することがないので、新しい意見を聞いて気づかされたことが多かった。



～みなさんの意見から～

リデュース

- 長持ちするものを買う
- 一人一人が自覚してごみを減らすように心がける
- 買い物するときはマイバッグを使う
- 必要でないものは買わない
- レジ袋やペットボトルはできる限り使わない
- エコバッグ、水筒を持参する
- 食品ロスをなくす
- 作りすぎないで、使う分だけ作る



リユース

- エコバッグ、水筒を持参する
- 長持ちするものを買う

リサイクル

- 外出先でもきちんと分別をする
- リサイクルできるものはきちんと分別する
- 一人ひとりが自覚してごみを減らすように心がける
- 長持ちするものを買う
- リサイクルできるものを買う

[illegible]

ごみゼロカフェ川柳

参加者一人ひとりが 川柳を考え、発表しました！

なるほど～！
すてきな川柳だね。
ごみの分別について、
もっとみんなに知って
もらいたいね。



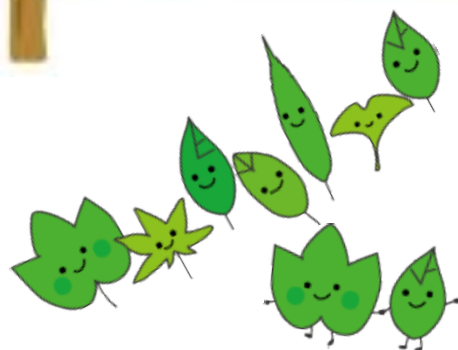
- ◆ ごみゼロへ 分別しよう リサイクル
- ◆ ごみゼロへ いろんな工夫 してみよう
- ◆ ビニールや ペットボトルは もらわない
- ◆ 使えるね そのごみあのごみ 捨てないで

- ◆ 分別を できない人は 無分別
- ◆ リサイクル できるものも 分別しよう
- ◆ 分別を 心がけて 捨てようね
- ◆ ごみ分けよう 自分の未来を 守るため
- ◆ 処理施設 分別しないと 大変だ



- ◆ リサイクル みんなでやって ごみ減らそう
- ◆ リサイクル 未来を守る 資源ともに
- ◆ 普段から 未来考え リサイクル
- ◆ わからない ままにしない リサイクル
- ◆ 未来のために みんなで考え リサイクル
- ◆ ふつうごみ 少しずつでも リサイクル

- ◆ 冷蔵庫 賞味期限を見よう
- ◆ 見直そう 買い物の仕方 調理法



- ◆ 思いやり いろんなことで ごみは減る
- ◆ 思いやり ごみを出す人 処理する人
- ◆ リサイクル 処理する人考えて

「ごみゼロカフェ」とは・・・

ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、様々な年代の市民や事業者など多様な主体がごみ減量について意見交換する場です。講演を聞いたり、意見を交換し、アイデアを出していきます。開催結果は「ごみゼロカフェ News」にまとめて広報するとともに、市のごみ減量施策に反映していきます。

■お問い合わせ 川崎市環境局生活環境部減量推進課

E-mail : 30genryo@city.kawasaki.jp TEL : 044-200-2579 FAX : 044-200-3923